

本書の使用方法

本臨時増刊号は「総目次」「特集、講座テーマ一覧」「件名索引」および「著者名索引」から構成され、それらは次のような方針で編集されております。

1. 収録範囲は、雑誌『理学療法と作業療法』第21巻1号(1987年1月)より第22巻12号(1988年12月)並びに、雑誌『理学療法ジャーナル』第23巻1号(1989年1月)より第30巻12号(1996年12月)の10年間に亘り、その全発行号に掲載された記事を収載しました。なお、「特集・講座」テーマ一覧のみは創刊号まで遡り、過去30年間の全てを紹介しております。「総目次」「著者名索引」はほぼ全てを網羅しましたが、「件名」索引につきましては、頁数の制限もあり引かれる機会の少ないと思われる記事につきましては割愛した部分もありますので各々の凡例をご参照下さい。
2. 頁数節約のため、欄名については下掲のような略称を用いました。「件名索引」および「著者名索引」を利用の際ご参照ください。略称の後の括弧内が正式名称です。欄の数が多岐にわたるために、それら全てに略称を用いることはせず、同じ範疇に入ると考えられる欄名を同じ略称にまとめてあります。

扉(とびら)、特(特集)、講(講座、1頁講座、入門講座)、研(研究と報告、短報、懸賞受賞論文、原著)、症(症例、印象に残った症例)、座(インタビュー、世界の同僚たち、座談会)、解(あんでな、プログレス、TOPICS)、誌(雑誌レビュー)、印(学会印象記、フォーラム、学生から、初めての学会発表)、紹(紹介、クリニカル・ヒント、プラクティカルメモ、実習レポート、報告、我が地域)、論(論説、特別寄稿)、言(理学療法草創期からの証言、新人理学療法士へのメッセージ)、人(PT最前線、Treasure Hunting)、資(資料)、評(書評、本の紹介)、悼(追悼)。

3. その他、使用方法の詳細につきましては、それぞれの凡例をご覧下さい。

件名索引 凡例：81頁

著者索引 凡例：150頁

本書の「件名索引」に記載された事項(key words)の変遷は理学療法の発展の歴史を示し、そして「著者名索引」は理学療法を育てた人たちの芳名録ともなっております。その意味で、本書は索引としてのみならず読みものとして読者の座右書に加えて頂けるならば幸いです。

『理学療法ジャーナル』編集室